

経験を積むことで、
自主的に行動できるようになる。



青木翔吾さん(1992年生まれ)

掛川工業高校 出身
中部大学 工学部卒業

愛知県警察本部

名古屋市中区三の丸 2-1-1
<https://www.pref.aichi.jp/police/>

なるためには

- 必要資格 / 特になし
- 主な進路 / 高校を卒業→大学へ進学→警察官採用試験に合格→警察学校に入校→交番勤務を経験→地域課に配属

—学生時代

「中学生のころは車の設計に興味があって、掛川工業高校に進学しました。高校卒業後は中部大学に進学。大学ではボランティアサークルに入り、地域の清掃や環境対策の活動に取り組みました。活動を通して継続することの大切さを学びました。時には地域の方と共同で行うプロジェクトもあり、幅広い年齢層の方と接することができた経験は、今の仕事にも生きていくと感じます」

—警察官を目指したきっかけは？

「大学3年のときに交通事故、バイクの盗難被害に遭いました。そのとき警察官の方が真摯に対応してくださり、警察という仕事に興味を持ちました。身内の警察官にも話を聞き、警察官になりたいという気持ちにさらに高まりました」

—仕事について

「警察官になると、まずは警察学校に入校します。警察学校では、法律などの警察官として必要な知識や、柔道・剣道、逮捕術などを学んでいきます。警察学校を卒業後、最初は交番に勤務し、道案内をしたり落し物の受理をしたり、様々な事案の対応を行いました。そのほか「巡回連絡」という地域住民の自宅を訪ねる活動も重要な仕事のひとつです。中には「困りごとがあっても、なかなか110番通報できなかった」という声もありました。直接、話することで本音を聞くことができるので、困りごと



の解決につながることも多かったです」

—最初に苦労したことは？

「職務質問をする際、最初のころはどのように声をかけていいのか分からず、何をすることも指示待ちになることが多かったです。経験を積むことで、自らできるようにになりました。どんな仕事でも、前向きな姿勢で経験を積むことにより自主的に行動できるようになると思いますよ」

—仕事内容を簡単に教えてください。

「普段はパトカーで巡回パトロールをし、110番通報を受理したときに誰よりも早く現場に駆けつけ、事件・事故の対応をします。交番勤務時よりも活動の範囲が広がり、様々な事案に対応しながら、住民の方が安心安全に生活できるよう、日々の業務に取り組んでいます」

—やりがい

「地域課の仕事は、巡回連絡など住民の方と関わる機会が多くあります。地域住民の方の助けになれることが一番のやりがいです。対応をしたあとに、「ありがとうございます」と言葉をかけてもらえる嬉しですね」

—メッセージ

「警察官として働く上で体力が必要になる場面も多いですが、職務に必要な体力は警察学校で身に付けることができます。また、警察の仕事は、年齢性別問わずいろいろな方と接する機会があります。学生時代は、同世代の友人だけでなく様々な人と話して、コミュニケーション力を高めていきましょう。警察官の仕事に興味があったら、ぜひ近くの警察署や交番に来てください。警察の仕事の魅力や、やりがいについてお話しさせていただきます」



自分探検

- 18歳 工業高校に進学。テニス部に所属して体力づくりに励む。
- 22歳 警察学校に入校。警察官として必要な知識を習得し、柔道や剣道、逮捕術なども学ぶ。
- 30歳 地域課に所属。地域住民が安心安全に生活できるよう、日々の仕事に取り組む。

先輩のインタビューをもっと見た方は、WEBサイトへ！

<http://amb100search.com>

